

目 次

1. 立川レンジャー活動実施報告・平成 20 年 9 月 15 日(月・祝)	1
1.1 実施状況	1
1.2 事前活動	2
1.3 活動状況	3
1.4 意見・課題	4
2. 立川レンジャー活動実施報告・平成 20 年 11 月 30 日 (日).....	5
2.1 実施状況	5
2.2 事前活動	6
2.3 活動状況	7
2.4 意見・課題	9
3. 上田レンジャー活動実施報告・平成 20 年 4 月 12 日(土)、6 月 15 日 (日)	10
3.1 実施状況	10
3.2 事前活動	12
3.3 活動状況	14
3.4 意見・課題	16
4. 上田レンジャー活動実施報告・平成 20 年 8 月 3 日(日)	18
4.1 実施状況	18
4.2 事前活動	19
4.3 活動状況	21
4.4 意見・課題	22
5. 上田レンジャー活動実施報告 4 月 16 日(水)~9 月 7 日(水).....	23
5.1 実施状況	エラー! ブックマークが定義されていません。
5.2 事前活動	エラー! ブックマークが定義されていません。
5.3 活動状況	エラー! ブックマークが定義されていません。
5.4 意見・課題	エラー! ブックマークが定義されていません。
6. 上田レンジャー活動実施報告・平成 20 年 10 月 22 日(水)	30
6.0 実施状況	30
6.1 事前活動	31
6.2 活動状況	32
6.3 意見・課題	34

7. 荘司レンジャー活動実施報告・平成 20 年 5 月 25 日(日)	39
7.1 実施状況	39
7.2 事前活動	40
7.3 活動状況	41
7.4 意見・課題	42
8. 荘司レンジャー活動実施報告・平成 20 年 11 月 9 日(日)	44
8.1 実施状況	44
8.2 事前活動	45
8.3 活動状況	46
8.4 意見・課題	48
9. 瀬野レンジャー活動実施報告・平成 20 年 9 月 25 日(木)	50
9.1 実施状況	50
9.2 事前活動	51
9.3 活動状況	53
9.4 意見・課題	54
10. 瀬野レンジャー活動実施報告・平成 20 年 10 月 25 日(土)	55
10.1 実施状況	55
10.2 事前活動	56
10.3 活動状況	57
10.4 意見・課題	59
11. 瀬野レンジャー活動実施報告・平成 20 年 11 月 22 日(土)	60
11.1 実施状況	60
11.2 事前活動	61
11.3 活動状況	62
11.4 意見・課題	63
12. 瀬野レンジャー活動実施報告・平成 20 年 12 月 18 日(木)	64
12.1 実施状況	64
12.2 事前活動	65
12.3 活動状況	66
12.4 意見・課題	67

1. 立川レンジャー活動実施報告・平成 20 年 9 月 15 日(月・祝)

1.1 実施状況

<テーマ：点野わんど自然観察会>

テ ー マ	点野わんど自然観察会		
担 当	枚方出張所管内	河川レンジャー立川レンジャー	
開催日時	平成 20 年 9 月 15 日(月・祝) 9:00~12:00		
参加人数	参加総数	26 名	
	一般参加者		14 名
	協力スタッフ (ねや川水辺クラブ)		9 名
	枚方管内上田レンジャー		1 名
	枚方出張所		1 名
	運営事務局		1 名
講 師	本汰 政雄氏	(寝屋川市自然を学ぶ会)	
スケジュール	<p>9:00 参加者受付と資料配付</p> <p>9:15 レンジャー開会の挨拶</p> <p>9:40 本多講師の植物講義その 1</p> <p>9:50 本多講師の植物講義その 2</p> <p>10:50 水生生物調査開始</p> <p>11:40 採取魚類の確認</p> <p>11:45 現地撤収</p> <p>11:55 レンジャーの水草講義</p> <p>12:05 水質測定結果報告</p> <p>12:10 会場撤収</p>		
実施場所	<p>The map shows a river area with a red line tracing a path along the bank. Key locations marked include '水生生物調査' (Aquatic Biology Survey) near the river and '植物調査' (Plant Survey) on the adjacent land. Landmarks like '光通電鉄' (Mitsutsumi Railway) and '西野町 点野心広場' (Nishinocho Chino Kokoro Hiroba) are also visible.</p>		

1.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 必要物品の貸与 (のぼり2個、投網1個、たも網9個、水槽1個、 ハンドマイク1個、手洗いタンク1個、バケツ3個、救急箱1個) パックテスト、配布資料の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 7月20日(日)会場事前調査 9月12日(金)会場事前調査 参加の案内 9月1日号広報ねやがわに記事掲載 8月18日ねや川水辺クラブ会員への案内 9月9日ねや川水辺クラブ会員への案内 8月1日号BYスタンプラリーに記事掲載 必要物品の準備 9月8日淀川河川事務所枚方出張所に必要物品申請 9月11日淀川河川事務所枚方出張所に必要物品貸与 9月15日ねや川水辺クラブより必要物品貸与 関係機関との調整 8月11日BYスタンプラリー事務局 8月1日号記事掲載申請 8月12日寝屋川市広報課 広報ねやがわ 9月1日号記事掲載申請 活動の実施 参加者の受付、司会進行 水生生物(魚類、貝類、水草類)の説明 水質調査の結果説明</p>

1.3 活動状況



参加者集合・受付



レンジャーより開会の挨拶



本多講師の植物講義



水生生物調査開始



魚とり開始



採取したカネヒラ



レンジャーによる水草講義



会場撤収

1.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>子ども達が自然体験できる機会が少ないので、参加できてよかった。</p> <p>B Y Qからの案内を見て参加したがよかった。(スタンプがもらえた)</p> <p>時間に余裕があれば、もう少し子ども達を遊ばせたかった。</p> <p>午前に終了し、よかった。</p>
今後の課題	<p>午前中に植物観察と水生生物観察を行ったのは、時間的に余裕がなかった。次回からは、それぞれ一つに絞りたい。</p> <p>水生生物観察では進行の関係から、結果として参加者まかせにしまい不安を与えた。不安を与えた(協力スタッフに進行の内容を周知していなかった)。</p>

2. 立川レンジャー活動実施報告・平成 20 年 11 月 30 日 (日)

2.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	点野わんどクリーン作戦と外来植物除去		
担 当	枚方出張所管内	河川レンジャー	立川レンジャー
開催日時	平成 20 年 11 月 30 日 (日) 9:00~11:00 当初予定 10 月 5 日 (日) 悪天候のためこの日に順延		
参加人数	参加総数	8 名	
	一般参加者		5 名
	枚方管内上田レンジャー		1 名
	協力スタッフ		1 名
	運営事務局		1 名
スケジュール	9:45	現地作業準備	
	10:00	点野わんど着手前全景	
	10:00	回収作業全景その 1	
	10:35	回収作業全景その 2	
	11:40	ホテイアオイの実態確認	
	12:10	回収物の袋詰め	
	12:30	回収物の運び上げ	
	13:15	回収されたホテイアオイほかの袋	
	13:15	点野わんど作業後全景	
	13:20	閉会ミーティング	
実施場所			

2.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>特になし</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 のぼり、ごみ袋、タオル、救急箱の貸与、支給</p> <p>ねや川水辺クラブ、 胴長、長靴、ロープ</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案</p> <p>参加の案内 広報ねやがわに記事掲載 ねや川水辺クラブ会員への案内 BY スタンプラリーかわら版に記事掲載</p> <p>必要物品の準備 淀川河川事務所枚方出張所に必要支援物品申請 ねや川水辺クラブより必要支援物品貸与</p> <p>活動の実施 参加者の受付、司会進行 外来植物の処理・処分</p>

2.3 活動状況



開会のミーティング



現地作業準備



点野わんど着手時全景



回収作業全景



回収物の袋詰め



回収物の運び上げ



回収されたホテイアオイほかの袋



ホテイアオイの実態確認



点野わんど作業後全景



閉会ミーティング

2.4 意見・課題

参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none">・余りに多いホテイアオイに驚いていた。・参加者が少ない割には多くの量を処理、除去ができた。・処理品は水を含んでいるため重たかった。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・日程が悪かったのか、広報活動が十分でなかったのか参加者が少なかった。・時間の関係でゴミ収集はできず、すべて外来植物除去で終わった。・繁茂していた量に比べ、処理、除去できたものは一部でしかなかった。・植物が小さい内にとれば処理も容易であるかもしれない。・そのためには現地の状況を頻りに調査しておく必要がある。

3. 上田レンジャー活動実施報告・平成 20 年 4 月 12 日(土)、6 月 15 日(日)、 11 月 8 日(土)

3.1 実施状況

<テーマ：淀川と人とのかかわり・淀川の自然・淀川の歴史を知ってもらい、今後の淀川のあり方を考えてもらう>

テ ー マ	淀川歩き			
担 当	枚方出張所管内	河川レンジャー	上田レンジャー	
開催日時	4 月 12 日(土) 10:00～15:30		6 月 15 日(日) 10:00～16:00	
参加人数	参加総数	42 名	参加総数	35 名
	一般参加者 協力スタッフ	40 名 2 名	一般参加者 協力スタッフ センター河川レンジャー	30 名 4 名 1 名
スケジュール	10:00 集合 10:30 庭窪わんど 11:00 佐田渡し跡 11:30 仁和寺不法耕作地撤去場所、 仁和寺渡し跡 12:00 昼食 13:00 活動過程の記入 13:30 点野砂州 14:10 点野船着場 14:30 茨田樋遺跡水辺公園 15:10 茨田堤の碑 15:20 太間排水機場 15:30 木屋解散		10:00 集合・挨拶 10:15 出発 10:45 水生生物センター着・見学 わんどと生き物についての話 11:10 出発・二十カ用水記念碑説明 11:50 昼食 12:40 出発 13:10 枚方大橋着・伊加賀切れについ て 13:40 鍵屋資料館着 見学 14:15 淀川資料館着 見学 15:10 出発 15:40 目的地(27km 地点)到着 16:00 東見附にて解散	
実施場所				

テ ー マ	淀川歩き 天候悪化のため中止	
担 当	枚方出張所管内	河川レンジャー 上田レンジャー
開催日時	平成 20 年 11 月 8 日 (土) 9:00 ~ 12:00	
	7 : 30 当日朝、主催団体「アジア協会アジア友の会」より 雨天のため中止との判断を受ける 集合場所で参加者連絡のため待機	
実施予定場所	 <p>活動場所：せせらぎ公園～ 太間公園～府立水生生物センター～ 木屋揚水機上（取水場）～茨田堤碑～ 茨田樋遺跡水辺公園～船着場～淀川わんど</p> <p>集合場所：京阪 寝屋川市駅</p>	

3.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>4月12日・6月15日共通資料 レジメ 川歩きを通じて、水と自然・文化を考える 淀川の歴史年表（レンジャー作成）</p> <p>レジメ要約 濡れた惑星・地球、46億年の地球の歴史の中での水と生き物は一心同体、水のないところに生き物はいない。</p> <p>ヒトの大繁殖に伴い水循環の混乱。一方、世界的文明を築いてきたし、また、滅ぼしてきた。我が国では、つい最近まで、比較的良好な人と水の関係があった。里川。生き物に平等に恩恵を与えてきた水、その水を流す川は、近代化とともに人によって占有され、“施設”として扱われたといっても過言でない。そのため、生態系の攪乱と、人の快適生活と大量消費・大量廃棄が背景 そのような流れを変えていこうと、市民のみならず行政が動き始めています。その中では、行政の責任を指摘するだけでは解決はないとして、市民の責任そのものへの問いかけも始まっている。淀川とその用水路を通して、大阪における人と水・川との関係を探り、市民が行っている川の再生活動を垣間見ること、「地域での川や自然に対する我々の向きあい方」を見つめなおすことができればいいかなと思っています。</p> <p>例）源流ハイキングは、私たち個人の住んでいる土地が、かつて、自然の遊水地である田圃であったり、保水効果のある里山・丘陵地であって、それを造成してコンクリートやアスファルト、タイル、瓦で覆ってしまい、川の直線化・コンクリート化に一役買ってしまったという現実を見ることで、川と人とのいい関係を取り戻す活動に、人々に参画してもらおうキッカケにしてもらう取り組み。</p> <p>例）そして、まちづくりの手法は、ワークショップなどを通して参画する、その極意は「市民の自己決定が市民のやる気を生む」に尽きます。市民が生き生きとまちづくりに参画します。市民主権、地方分権の時代です。</p> <p>レジメ 鳥飼大橋から木屋の見どころ 庭窪わんど群、佐太天神、鳥飼の渡し、淀川舟運30石舟、仁和寺、“たまり”跡、たまりとワンド、淀川高水敷、水辺の不連続性と生態系の変化、点野(しめの)わんど 特定外来植物、淀川本川の湖化、自然の水位変化と攪乱のおきない川と生物、点野砂州、・デレーケの水制・粗朶沈床・外輪船、タチヤナギの群生地と「淀川で遊び学べる発信拠点」づくり、茨田樋跡(まったひ)</p> <p>里川の自然の復元と文化の掘起こし、市民公共工事、淀川利水と人々の生活・文化、スーパー堤防 治水と緩傾斜護岸、茨田堤防(まんだのつつみ)、絶間(大間)と仁徳、文禄堤太閤堤、寝屋川導水路、大間排水機場、</p> <p>写真・図配布資料 (淀川新旧航空写真水制、茨田樋今昔写真、会所図会(佐田天神・絶間ころもこ茨田堤)、30石船引き上がりの図、30石船図・外輪船写真他)</p> <p>レンジャーニュース 淀川兩岸絵図(淀川資料館) 淀川河川公園利用マップ</p> <p>レジメ 木屋からかささぎ橋見どころ 水生生物センター 外来種・イタセンパラ・アユモドキ、淀川には日本の淡水魚の1/3の種類、20箇用水記念碑 文禄堤(長柄まで27、7キロで分断された派流の復活)、北河内20箇村の生活・農業を潤す、木屋ポンプ場 淀川左岸流域(淀川、寝屋川、大川に囲まれたデルタ地帯)への揚水(生活用水、農業用水、環境用水) デレーケと低地開発、川を治めるにはまず山を、森林植生の回復、砂防堰堤、水制(粗朶沈鐘)、スーパー堤防 治水のあり方、向かいには三島江浜・渡し 三箇牧、伊加賀切れ 明治18年(1885年)113町、27000人以上被災、生駒山系麓から大川まで浸水、昭和28年宇治川決壊とダム治水の導入、天ヶ瀬・木津川高山ダム 淀川高水敷 水辺の不連続性と生態系の変化、昭和30年代の高度成長と人口集中・水需要と河川法改正(治水・利水) 枚方大橋 シーボルト・天井川・水位計、幹線水路取り込み樋(合同樋)跡 淀川河川公園、水衝部に造った公園と一段低い堤防、国体 鍵屋資料館 くらわんか舟、「鍵屋浦には碇は要らぬ、三味や太鼓で船止める」、枚方宿(53次大津 京都三条 54伏見、55淀、56次枚方、57守口 京橋)、京と逢坂の中間地点の要所、淀川資料館、天の川とかささぎ橋</p> <p>配布資料図会(出口、枚方万年寺、枚方驛、天川他〔鍵屋資料館長協力〕) レンジャ－ニュース 淀川兩岸絵図(淀川資料館) 淀川河川公園利用マップ</p>
-------------	--

<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>ねや川水辺クラブ スピーカーの貸与 水生生物センター 説明と解説 淀川資料館 説明と解説</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 企画、調整 参加の案内 NPO 会報 必要物品の準備 レジメ作成、各種パネル準備 関係機関との調整 水生生物センター・淀川資料館での解説依頼など 活動の実施 当日の進行・挨拶 各見学箇所における自然、文化、歴史と暮らし、治水などについて 説明、まとめ</p>

3.3 活動状況



庭窪わんど・ウォーターレタスの繁茂



堤防幅が広いのは非常用備蓄土砂、水防倉庫
地域に密着した水防活動（「みんなで守る」）



佐田天満宮と菅原道真・淀川と日本の歴史
レンジャー活動の紹介 川の市民活動の紹介



点野わんどで投網
外来生物と淀川について・水制の説明



茨田遺跡水辺公園・淀川と用水の歴史



太間段蔵と「自ら守る水防」



2回目集合は香里園駅前、工程説明



大阪府水生生物センター見学・淀川の生き物



水生生物センター ビオトープ
淡水魚栽培漁業から府民の学習拠点へ転換



木屋揚水ポンプ場
淀川左岸地域の用水はここが基点



対岸に見えますのは三箇牧・芥川
枚方と攝津を結んだ渡しの説明



野草地区での淀川植物の説明・セイタカヨシ



鍵屋資料館前・枚方宿と三十石舟・くらわんか舟



河川事務所裏・淀川利水とレンガ樋



淀川資料館・淀川と人の付き合いの歴史のまとめ



枚方高水敷ビオトープ・枚方大橋

3.4 意見・課題

参加者からの 意見	<p>(4月12日)</p> <p>淀川下流左岸一体の水の利用・排水対策など、淀川と人々の関わりの歴史や自然環境の現状についてよく分かった。</p> <p>堤防補強工事の部分は外来植物が多いが施設などがあって前のままになっている箇所は、ツクシや関西タンポポが群生している。補強工事の折に表土をマットのように切り取り新しい面に貼り付け再生することはできなかったのか？</p> <p>堤防に到着して眺める景色は美しいグリーン色</p> <p>タチヤナギの新葉タンポポにスマレの花盛り、まさに春爛漫…。点野地区の川原では「淀川で遊び学べる発信拠点づくり」と「茨田樋遺跡水辺公園」の活動の記録写真を見せてもらいました。それは立派なパネルに仕立てられ、詳しく説明も聞きました。子供の頃の淀川で楽しく遊んだ自身の体験を再現したい旨の熱意が伝わってくるお話でした。</p> <p>明治8(1875)年にデ・レーケらオランダ人技師団によって水深40cmだったのを150cmほどにして蒸気船が通れる航路とした工法のケレップ水制、その施工時のなごりの石材が残るところを歩いてのわんどの散策は楽しく印象に残りました。</p> <p>あらかじめパネルで拝見していた「淀川で遊び学べる発信拠点」の現場へ、そこは大木がたくさん林立して小さな森のような所でした。</p> <p>その後左岸堤防上を歩いていきますと土手沿いに旧国道一号線の跡地が残され、その辺りには段蔵造りの重厚なお百姓さんのお屋敷が何件も眼下に見え昔が偲ばれました。</p> <p>昔は淀川左岸枚方から毛馬までに8箇所の用水樋門があったとのこと。農業用水・生活用水に利用、しかしそのすべてが廃止され現在は枚方市から始まる「淀川左岸幹線水路」がポンプアップでその役目を果たしている。なんと夜間は停止していると知りました。帰路の香里園駅道中その水路の橋を渡りました。この地帯は淀川・寝屋川・大川に囲まれ大雨の時は水はけが悪い、大阪府太間排水機場の大変大きい施設を見てこの件も納得しました。大河の淀川から水資源の恩恵、背中合わせの災害を文明の力で乗り切っているとまた一つ気づききっかけを得ました。生命の水とのお付き合い、これからは人間の叡智で持続可能な施行でと願わずにはいられない。</p> <p>(6月15日)</p> <p>参加者の感想「淀川を5km歩く間に、自然観察・淀川の治水の歴史等、いろんな事を学びました。学ぶことが多すぎました。奥が深いです。じっくり整理する必要があります。私の両親はかつて枚方に住んでいましたが親の実家へ行っても、そこから京都・大阪へ遊びに行くだけで、枚方の街中を歩くことはありませんでした。親がかつて住んでいた街にこんなすばらしい歴史・文化があるとは知りませんでした。後日、一人でゆっくり歩いて復習をしたいです。参加する度に「学び」を感じますが、今回ほどそれを感じたことはありませんでした。」</p>
--------------	--

<p>今後の課題</p>	<p>(4月12日)</p> <p>佐田水防倉庫と堤防に突き出て設けられている備蓄土砂置き場などが、過去の洪水の歴史や淀川流域下流の地域特性から必要とされる治水・利水の特徴をについて理解していただくのに好適である。</p> <p>文祿堤のルートやかつての渡し場の位置などを会所図絵などを参考に説明することで、淀川がつい最近まで河道が動いていたところが理解される</p> <p>土砂の多い原因と古墳時代からの流域における寺社、都の建設、最近の土地利用など人間生活とそれが自然に与えるマイナスの影響などについて理解していただくのに、低水護岸に張り付く砂洲の現状や浚渫による低水工事などを紹介することが最適である</p> <p>残されているたまり跡と直線化された高水敷、水制跡、運動公園などを紹介することで、川を施設として扱った歴史と、人口集中、市民の要望などについて考える機会とすることができる</p> <p>左岸の枚方～守口間の堤防は、淀川・寝屋川・大川に囲まれた旧茨田郡を中心とする地域に接していて、内水排除や用水確保もポンプを必要とする河口デルタ地帯で、土地が肥沃で生産性が高い反面、洪水に悩まされた土地であることが、隣接する施設や歴史から理解することができる唯一の場所であり、淀川の特性を如実に現す区間である。</p> <p>「庭窪取水口付近など堤防補強工事の折に盛り土をしていないところには、カンサイタンポポや土筆の群生が残っている。補強工事の折に、補強前の堤防の表土を新しい堤防表面に貼り付ければいいのに。」という意見に対し、表土を剥ぐことは、強度確保から難しいのであれば、外来種が芽吹かないようチガヤ草原にする部分もあってはいいのでは？</p> <p>提案事項 仁和寺から点野にかけて、ワンドやたまりを再生してほしい旨寝屋川市から意見が出ている件について、高水敷の切り下げとたまりの復元、一部ワンドの切り下げによる通水を協働で行うことで、淀川の紹介に厚みが増すのでは。</p>
--------------	---

4. 上田レンジャー活動実施報告・平成20年8月3日(日)

4.1 実施状況

<テーマ：淀川丸ごと体験会>

テ ー マ	淀川丸ごと体験会		
担 当	枚方出張所管内	河川レンジャー 上田レンジャー	
開催日時	平成20年8月3日(日) 8:30~18:40		
参加人数	参加総数	55名	
	一般参加者 協力スタッフ 枚方管内立川レンジャー 枚方管内瀬野レンジャー センター河川レンジャー 運営事務局	34名(大人10名、小人24名) 19名(ねや川水辺クラブ、NOAC) 1名 1名 1名 1名	
スケジュール	<p>8:00 スタッフ集合(寝屋川市役所)・備品の積み込み</p> <p>8:40 参加者集合・バスで現地へ 点野のスーパー堤防到着 8:50 茨田樋遺跡水辺公園見学・レンジャーより治水についてのお話 9:30 移動 9:50 開催場所到着・開会式 10:00 会場探索 10:10 清掃活動 10:30 外来種とヨシの話・ネイチャーゲーム 11:05 ヨシ笛作り 12:00 昼食 昼食後、子どもはブランコ遊び、大人は土のう作り体験 13:15 舟運の話・舟遊び ライフジャケットの説明と着用後、Eボート乗船開始 14:25 点野わんど到着・魚とり 15:15 魚とり終了・とれた生き物の解説 16:10 太間船着場にて下船・着替え 16:50 終了の挨拶・アンケート 17:05 解散・参加者バス乗車 スタッフ後片付け 18:40 寝屋川市役所にて備品の積み卸し後、スタッフ解散</p>		
実施場所			

4.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>物的支援 国交省</p> <p>ごみ処理、タオル50枚、葦笛づくり説明書印刷50、ごみ袋100・土嚢袋50+50、マンガ川づくり物語・舟運物語各50、30石舟紙模型50(あれば)、外来種パンフ50、わんどパンフ50、A4封筒50、パンフ「みんなの淀川をみんなで守ろう」50、「川あそびは楽しいけれどこんなところでは遊ばないでね」50、「河川愛護月間チラシ」50</p> <p>ライフジャケット子供用30、クーラーボックス4、救急セット2、レンジャー旗8枚、レンジャーニュース5号50枚、ハサミ6、鞘付ナイフ10、カッターナイフ、ブルーシート3枚、スローバック10、投網4、手網(長10、短10)、水槽(大1、小3)、ビニールバケツ10、エアーポンプ2、お茶タンク小3、着替え用丸テント2、簡易トイレ2</p> <p>寝屋川市 パイプ椅子10、机大4、コンパネ4枚、2段梯子、縄梯子1、脚立特大2、ロープ4本(太ロープ、長ロープ)+予備4本、水掛用ひしゃく大2</p> <p>水辺クラブ 首掛けスピーカーマイク2、ハンドマイク1、スタッフ腕章20、名札スタッフ分、三本爪かけ10本・一輪車2台・胴長10+5、長靴10、剪定鋏2、丸太、ノコギリ、ロープ付き浮きポリタンク3、シャワー用ポリタン5、投網1、手網10、エアーポンプ6(水辺2+竹井1、立川1、加藤1、玉井1) 魚用衣装箱(ポリ水槽)1、剣スコップ3、屋根テント2、救急セット2、ごみハソミ20、(ビニールひも、ガムテ、シノ、番線、インシュロック、虫除けスプレー、虫さされクリーム NOAC バインダー40、ゲーム資材、小机5、お茶ク-ラ-タンク大2、お茶パック、</p> <p>上田レンジャー アルミ仮設階段準備、茨田樋昔の写真パネル、茨田樋市民工事パネル、30石・外輪船パネル・寺田屋パネル、淀川新旧水制パネル、点野ワンド航空写真、洪水写真パネル、シャワーの先、シャワー用ホース、大型タープ、ジョウロ1、タイヤ、レンジャー腕章、ぞうきん、黄桜カップ資料、流域地図、茨田堤図絵、笛</p> <p>摂南 Eポートゴム2隻・プラ1隻(摂南大) ライジャケ大人用30、ハンドマイク1、</p> <p>佃さん 食材、プロパンボンベ1、ガスホースと2又、専用鉄板台1、やかん、ガスコンロ、調理用テーブル2、水タンク3(調理・非常)</p> <p>車輛 マイクロバス、ボランティア車両(軽ダン、軽ワゴン) 渡辺普通トラック、加藤普通トラック、竹井乗用車、玉井軽トラ、調理用具用軽トラック</p>

レンジャーの活動内容	実施計画の立案 企画、立案し関係者（学校・NPO）と調整し最終案とする 参加の案内 学校・NPO への案内 必要物品の準備 国交省備品や資料提供・印刷、レンジャー自身の調達、 ねや川水辺クラブ、寝屋川市などから貸与、提供の依頼 関係機関との調整 スタッフ協力など 活動の実施 当日の進行・運営
------------	--

4.3 活動状況



茨田樋遺跡公園にて淀川の治水の歴史の話



清掃活動



ネイチャーゲームで外来種について学習



ヨシ笛作り



土のう作り体験



Eボート乗船

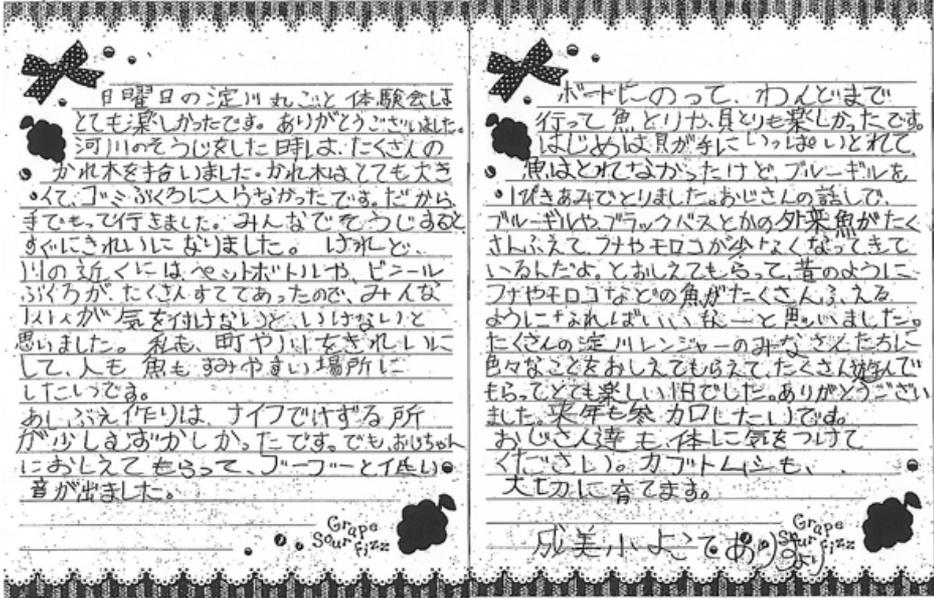


川の生き物を探しています



搬出・備品の積み込み

4.4 意見・課題

	<p>子どもアンケート集計結果 良かったメニューは？(人・複数可) 茨田堤・茨田樋見学... 10 砂州と水辺の清掃... 10 ネイチャーゲーム... 4 ヨシ笛作り... 5 キャベツ焼き(昼食)... 9 船下り... 16 魚とり観察... 16</p> <p>参加した小学生よりいただいた感想文</p>  <p>保護者よりいただいた感想文</p> <p>おはようございます。この度は淀川丸ごと体験会に参加させて頂きありがとうございました。主人が前日になり急に自分も行きたいと言出し、本来なら松森先生にご連絡差し上げないといけない所土曜日、それも夕方だったので直接上田様をお願いさせて頂き入り込ませて頂きました。とても楽しく、娘もめったに出来ない経験をさせて頂きました。キャベツ焼きをご馳走になったうえに、カブトムシのつがいまでお土産に頂き大満足で一日を過ごしました。虫好きの彼女はクマゼミではなく油蟬ばかりが生息していた事に感動し、精進ばったを10匹ほどとこおろぎ1匹、それにかえるを4匹観利益に持ち帰り、帰ってさっそく飼育ケースに住処を作っていました。また、成美の子ども達はとてもおこさんで、上田様の各所各所のお話も熱心に聞き、質問もし、I am proud of the students.でした。子ども達の様子を何枚かですが写真に収めておりますのでまた持って上がります。本当に夏休みの貴重な思い出を作る事が出来ました。感謝いたしております。学校へ行って直接お礼を申し上げないといけないのですが、スクーリング続きで本曜日まで出勤できませんので取り急ぎメールにてご連絡差し上げた事お許しくださいませ。酷暑の折ご自愛ください。</p>
<p>参加者からの意見</p>	<p>参加者からの意見</p> <p>今後の課題</p> <p>実施時間が長いので、スタッフの2班制、スタッフのメニュー単位の参加なども考えてみるべきか？検討。</p>

5. 上田レンジャー活動実施報告 4月16日(水)～11月29日(土)

5.1 実施状況

<テーマ：子どもが安全に遊び、学べる水辺の発信拠点づくり パート2>

テーマ	子どもたちを中心に大人も含めて淀川を知ってもらう学習拠点となるフィールドづくり(淀川と人とのかかわり・淀川の自然・川の楽しさ)				
担当	枚方管内		河川レンジャー	上田レンジャー	
日時	4月16日(水) 9:00～12:00	4月26日(土) 9:00～12:00	4月30日(水) 9:00～12:00	5月17日(土) 9:00～12:00	6月14日(土) 9:00～12:00
参加人数	3名	35名	1名	2名	35名
	協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 3名	一般 32名 (海外研修生) 協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 3名	協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 1名	協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 2名	一般 32名 (海外研修生) 協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 3名
日時	7月19日(土) 9:00～12:00	7月20日(日) 9:00～12:00	7月26日(土) 9:00～12:00	8月2日(水) 9:00～12:00	9月7日(水) 9:00～12:00
参加人数	2名	22名	25名	9名	1名
	協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 2名	一般 10名 (海外研修生) 一般 9名 (摂南大学) 協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 3名	一般 19名 (海外研修生) 協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 6名	協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 9名	協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 1名
日時	10月18日 (土) 9:00～11:30	11月29日 (土) 9:00～11:30			
参加人数	48名	18名			
	一般 45名 (海外研修生) 協力スタッフ (ねや川水辺クラブ) 3名	一般 15名 (海外研修生) 協力スタッフ (ねや川水辺クラブ、寝屋川市) 3名			
スケジュール	<p>標準スケジュール</p> <p>9:00 現地集合</p> <p>外来種の除去、河川清掃、ネズミムギの刈り取り、オオブタクサ、エゾギンギシ、セイタカアワダチソウの引き抜き、カナムグラの新蔓の引き抜き、ネズミムギなどの外来種の草刈機による刈り取り、アレチウリの引き抜き・刈り取り、カナムグラの引き抜き・刈り取り、ごみ清掃</p> <p>刈り草の集積、または集めないで次の成長を阻害するため放置、集積の場合は、当日または後日撤去(ごみも同様)</p> <p>11:30 作業終了・機材の手入れ</p> <p>12:00 スタッフ解散</p>				

活動場所



5.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>特になし</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>寝屋川市 草刈り機の貸与 ボランティア車両の提供 パッカー車の提供、可燃ごみの処理、胴長・長靴の提供 ねや川水辺クラブ スタッフ参加 草刈り機、鎌の貸与、ノコギリの貸与、刈払機燃料の提供 ヘルメット、胴長、長靴の貸与 淀川河川事務所 不燃ごみの処理 ごみ袋、土嚢袋の提供 草刈機燃料の提供 草刈機刃の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 昨年のデータ、今年の外來種の成長、ごみの漂着状況に応じて実施。 参加の案内 ねや川水辺クラブ、摂南大学、外国人研修期間との連絡調整による 必要物品の準備 淀川河川事務所、寝屋川市、ねや川水辺クラブから各種貸与、提供 関係機関との調整 淀川河川事務所、ねや川水辺クラブ、摂南大学、外国人研修期間との 調整による 活動の実施 開会挨拶 作業の説明 作業指導、指示（刈る草の選定と指示など） 進行管理、点検 実際の作業（草刈、漂着ごみの清掃、刈草の搬出）</p>

5.3 活動状況



上田レンジャーによる説明。これが淀川の原因風景のアシです。刈り取らないで



刈り払い機の操作のコツ・こうすると疲れません



ネズミムギの群落、一気に刈ります。



オオブタクサも結構あります



アシに絡んだアレチウリ・カナムグラは手作業で引き抜きます



早い時期はカラシナ・夏の盛りを過ぎるとマメアサガオ・ホシアサガオが主役



発信拠点はこんなところです



ヤナギがつくる緑陰は格好の学習の場となります



「子どもの活動に使います、汗を流してがんばろう」



刈り取る草の種類・注意事項等の作業前説明



作業方法説明「根元から刈り取ってください」



倒れているネズミムギは刈りにくいです



刈り取る草を選びながら慎重に



人海戦術で刈り取ります



アシに絡んだアレチウリは1本々々引き剥がします。



参加者記念写真です、関係者も入れて38人



茨田樋遺跡公園の清掃の様子



草刈りを中心とした作業



砂州にて、刈った草を集める作業



集めたゴミを回収車へ



終了の挨拶

5.4 意見・課題

<p>参加者からの意見 レンジャーの感想</p>	<p>カラシナは去年に比べて非常に少ない。やはり種が成長したり、飛散する前に除去することが大切。 イネ科は風で草が倒れると作業が困難。根元から刈り取るには、2度刈りする必要あり。草丈の低いうちに刈り取ると、特に作業が楽。 カナムグラは双葉や小さいうちに刈り取ると、効率が良い。 アレチウリは昨年の除去が種ができてからの除去が主であったので、多くの芽吹きがあった。今年は成長初期に除去をしたので今年分は除去できたと思っていたが、9月に入ってから、きれいに草刈りしてイベントを実施した後、1ヶ月の間に競争相手のいないこの場所で、一斉に芽吹いて成長し地面を覆ってしまった。一部結実もしている。種が落ちたかも？。 マメアサガオ、ホシアサガオも他に絡んでからでは蔓が強靱でカナムグラ同様除去が難しい。 アレチウリの実の棘がチクチク痛い。ゴム手袋、革手袋が必要。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>カラシナは昨年の除去が利いたようで芽吹きが少ない。 ネズミムギなどイネ科は草丈が長くなると草の根元から倒れて寝てしまうため、根元から刈るのは難しい。そのため、同じ場所を2度で刈りしないと根元から刈れないが、今年のように草丈の低いうちに刈り取ると、作業が楽。 短いうちに刈り取るには5月ゴールデンウィーク前には1回目の刈り取りを終える必要あり。 カナムグラは新芽の(5cm~60cm くらいの苗)うちに引き抜くと、寝間でスーッと抜け作業しやすかった。200~300株くらい抜いた ネズミムギ、ホソムギは草丈が長くなると草の根元が倒れて寝てしまい、その後首をもたげて再び伸びるので、根元から刈るのが困難。刈り取った草を、刈り取ってない草の上に重ねると同様のことがおき、刈り取った草のように乾かないでふわふわした状態のまま残る。 早い時期から刈り始めたため、昨年のように伸びすぎて倒れて刈り取り作業が困難ということはない。再び伸びてきたネズミムギ背丈が低くても、一定の時期が来ると種が実るようである。種が十分成長する前に刈り取りが必要であることから、6月中旬に2回目の刈り取りが望ましいと考えられる。 アレチウリが全面を覆っていた。昨年のアレチウリの最終駆除が秋になり種が落ちたようだ。アレチウリは作業を開始すると絡まるが蔓が柔らかいため、案外刈り取りできる。先に手作業で取り除くと作業は格段にはかどる。 蔓が繊維質で絡んだアシから引き離すのに困難なカナムグラは今年春に、新芽や若蔓の段階で抜き取りと刈り取りを行ったため、極、少ししか見当たらない。今年、昨年より早い4月から2度の全面刈り取りをおこなったため、イネ科は少なく伸びている草は全体に丈が低く柔らかいものが主で、昨年同時期とは作業効率が格段によかった。 アレチウリ、カナムグラがアシに覆い被さっている。マメアサガオも多し。すべて、昨年より減っているが、2度目の芽吹きの刈り取りの時期を逃した感あり。 カナムグラ、アレチウリなどがからむ対処となる、アシ、セイタカヨシのまとまっている箇所を初めて刈った。刈り取りによる来春のアシの成長具合の調査とカナムグラなどの若芽か抜き取り作業の効率化を図った。</p>

6. 上田レンジャー活動実施報告・平成20年10月22日(水)

6.1 実施状況

<テーマ：子どもたちを中心に、淀川と人とのかかわり・淀川の自然・淀川の歴史・川の楽しさを知ってもらおう>

テーマ	淀川と人との関わりの歴史探究		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー 上田レンジャー	
開催日時	平成20年10月22日(水) 9:00~12:10		
参加人数	参加総数	133名	
	点野小学校4年生児童 点野小学校教職員 協力スタッフ 淀川河川事務所 枚方出張所 運営事務局	109名 4名 11名 6名 1名 2名	(運営会議委員、寝屋川市役所、摂南大学、ねや川水辺クラブ等)
スケジュール	9:00 スタッフ集合・レンジャーより説明後、準備 9:40 点野小学校児童、教職員集合・開会 レンジャーより学習の説明 9:50 クラス毎に目標地点に移動 船着場...舟運の歴史についての話 茨田樋水辺遺跡公園...治水の歴史と地域連携による取組の話 スーパー堤防...防災についての話とスーパー堤防の説明 1組... 、2組... 、3組... 11:15 点野わんど前に全クラス集合・わんどとそこに棲む生物の話 11:45 講義終了 12:00 終了の挨拶のあと、児童ら帰校 スタッフ集合・後片付け 12:10 スタッフ解散		
実施場所	 <p>活動場所：茨田の植跡、点野船着場、点野わんど、たまり跡、点野スーパー堤防、土砂備蓄緑地公園</p>		

6.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>配布資料</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>ねや川水辺クラブ スタッフ協力</p> <p>寝屋川市 スタッフ協力 ボランティア車両の貸し出し</p> <p>淀川河川事務所 スタッフ協力 必要資料の提供 必要物品の貸与（のぼり等）</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案（実施計画書） 実施日、実施内容の検討</p> <p>必要物品の準備 必要資料の提供依頼 必要物品の貸与依頼</p> <p>関係機関との調整 小学校との打合せ スタッフ協力依頼、調整</p> <p>活動の実施 当日の挨拶・学習説明 スタッフ指揮 進行 全体のまとめ</p>

6.3 活動状況



スタッフ集合・ミーティング



児童ら集合 レンジャーより挨拶と学習の説明



スーパー堤防にて防災についての話とスーパー堤防についての説明



船着場にて舟運の歴史についてのお話



茨田樋遺跡水辺公園にて話を聞く児童ら



整備された茨田樋遺跡水辺公園を見学



点野わんど前にて



本多委員よりわんどのなりたち、生きものについてのお話



澤井委員よりデレーケの水制とわんどについての説明



終了の挨拶後、解散

6.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>別途記載</p>
<p>今後の課題</p>	<p>説明箇所間の移動の列が延びてしまった。班付スタッフは次回から移動時および講師の説明時間等に関してタイムキーパーをしていただく必要あり</p>

参加者からの意見

参加小学校の先生より

上田様

先日はいろいろとお世話になうありがとうございました。
 子どもたちも、学校に帰って学習をふり返った所、多くのことを学んでおりました。
 子どもたちの感想のうち、何かをも送らせていただきます。
 四年生は、一生懸命書いています。読んでやって下さい。
 水辺クラブはじめ、河川レンジャー活動に参加させている皆様にも
 何となくよろしくお伝え下さい。
 まずは、お礼まで
 十月二十四日
 草々
 鳥野小学校四年担任 川

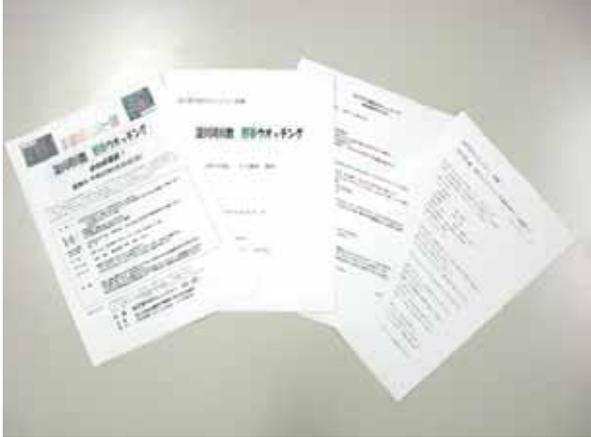
7. 荘司レンジャー活動実施報告・平成 20 年 5 月 25 日(日)

7.1 実施状況

<テーマ：淀川河川敷 野草ウォッチング>

テーマ	淀川河川敷 野草ウォッチング		
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー 荘司レンジャー	
開催日時	平成 20 年 5 月 25 日(日) 12:30~16:30		
参加人数	参加総数	31 名	
	一般参加者 協力スタッフ 枚方管内瀬野レンジャー 山崎管内谷岡レンジャー 淀川河川事務所 枚方出張所 運営事務局	21 名(大人 18 名、小人 3 名) 5 名 1 名 1 名 1 名 1 名 1 名	
スケジュール	前日の天気予報の判断により、午前実施を午後実施に変更		
	12:30	スタッフ集合	
	13:00	参加者集合・受付	
	13:10	荘司レンジャーより開会の挨拶と行程の説明・河川敷へ出発	
	13:30	河川敷到着・淀川の概要説明	
	13:40	協力スタッフによる淀川の野草についてのお話	
	14:00	枚方なぎさ浄水場取水口にて淀川の成り立ちについてのお話 枚方市の取水口についての説明	
	14:25	出発・野草を観察しながら下流側へ移動	
	15:20	淀川資料館到着 荘司レンジャーより終わりの挨拶 資料館案内員による展示の解説 解散後、参加者各自自由見学	
実施場所			

7.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 備品（フィールドスコープ、のぼり等）の貸与 配布資料の提供 淀川資料館 当日の案内 募集チラシの掲示 NPOシニア自然大学 スタッフ協力</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 企画の立案 参加の案内 公的機関（淀川資料館、枚方公園青少年センター、さだ公民館）での掲示 友人および地域の人への自主PR 必要物品の準備 関係機関への貸与依頼 協力スタッフの調整 活動の実施 当日の進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日天候が悪く朝から雨が降っており中止も考えたが、午後から回復の兆しがあり、急きょ午後から変更決断し、前日電話にて対応した。 ・しかし当日受付可にしていたので集合場所には予定時間に行って待機した（誰も来なかったが） ・全体的にはほぼ計画通り実施できた。

7.3 活動状況



集合・受付 挨拶



河川敷へ向けて出発



淀川の概要説明



野草についてのお話



春の植物を中心に自然観察



淀川についてのミニ講座



淀川資料館の見学

7.4 意見・課題

<p>参加者からの 意見</p>	<p>活動の最後の時点で本日の感想についてポストイットカードにそれぞれ書いていただきまとめた。</p> <p>天候の加減で午前から午後に変更した判断は良かった。内容が盛り沢山すぎて時間が少なかったのが残念。</p> <p>天候良好 各説明なども講師それぞれの人柄が出ていて良かった。</p> <p>沢山の植物の名前を知ることができて良かったです。ただ 親子連れが私たちだけだったのが残念でした。</p> <p>私自身は興味深く楽しめたのですが子どもがスタッフに木を遣わせてすみませんでした。</p> <p>淀川の説明、草木、野鳥の説明大変参考になりました。また参加したいと思います。</p> <p>淀川の状態を詳しく説明していただき有難うございました。</p> <p>この時期の淀川河川敷での野草や樹木の状態、また何種類かの野鳥も見れて大変良かったです。また淀川の歴史的なことも知識として増えました。</p> <p>初めてに近い淀川でしたが良かったです。淀川の広さ、大きさを改めて感じました。</p> <p>普段 私たちとは切っても切り離せない淀川をゆっくり見ることが出来たのが何よりの収穫でありました。</p> <p>植物の説明が良かった。治水、利水の必要性も良く判った。次回も出席したい。</p> <p>淀川の野草で花が咲いていたものをいろいろと教えていただき覚えることが出来てよかった。また 午後の観察会だったので野鳥が少なかったように思う。季節が変われば花も異なると思うのでまた来たい。</p> <p>淀川の草木や鳥で期待していたほどはあまり見つけられませんでした。勉強になりました。</p> <p>植物のしくみなど、淀川のいろいろな鳥や草花など沢山のことが判りました。</p> <p>雨に降られず良かった。距離、時間 適切で良いプランでした。</p> <p>いろいろなことがわかってうれしかった。(子ども)</p> <p>思ったよりも花が少なくなっていて春から夏への変わりつつあることを実感しました。かんかん照りじゃなくて良かったです。</p> <p>判らなかつた野草をいろいろ教えていただきこれからの散歩も楽しくできるので大変有難かったです。</p> <p>大変良かったと思います。またお願いいたします。</p> <p>朝から雨でどうなるかなと思っていましたが、お天気で良かったです。樹の説明も付属があつて面白かったです。</p> <p>淀川は何回か歩いていますが、季節によりいろいろ楽しめる場所だと思っています。またちょくちょく訪れてみます。</p> <p>近くにおりながら何も知らず、淀川のこと、野草、草花のことなどいろいろ発見できて学びました。</p> <p>本日はご苦労様でした。今後の活躍に期待いたします。</p> <p>ご苦労さまでした。本当に淀川のことをよく勉強されていてびっくりしました。また雨のため時間を変更されご苦労さまでした。</p> <p>歩く距離も、時間的にも適当だった。もう少し子どもたちの参加があれば良かったのに・・・ご苦労さまでした。</p> <p>野草、野鳥、歴史など普段あまり気にとめない身近なことですがいろいろ楽しかった。有難うございました。</p>
----------------------	--

<p>今後の課題</p>	<p>野外での活動に対しては天候に大きく左右されます。雨天の時の対応が問題(日程変更は調整が大変)</p> <p>参加者は事前受付にしておかないと 当日天候などの理由で内容を変更する時が大変である。</p> <p>当日の活動時間にゆとりを持ち、参加者との対話時間をもっと持つ必要がある。</p> <p>(要望)</p> <p>淀川レンジャーとして参加者にいろいろ説明する中で、特に最近のことで淀川河川管理者側より地域住民に知ってもらいたいことなど要約してレンジャーに教えておいて欲しい。(今 何が大きな問題なのか? どんな協力を求めているのか?)</p> <p>淀川レンジャー活動を一人で企画・運営していくのはやはり大変なので、グループ運営の方法も将来考えて欲しい。</p>
--------------	---

8. 荘司レンジャー活動実施報告・平成 20 年 11 月 9 日(日)

8.1 実施状況

<テーマ:> 秋の野草ウォッチングと楠葉わんど見学

テ ー マ	秋の野草ウォッチングと楠葉わんど見学		
担 当	枚方出張所管内	河川レンジャー	荘司レンジャー
開催日時	平成 20 年 11 月 9 日(日) 10:00~15:00		
参加人数	参加総数	37名	
	一般参加者	28名	瀬野、谷岡各レンジャー、荘司(主催)
	河川レンジャー	3名	
	協力スタッフ	2名	
	講師	2名	
運営事務局	2名		
講 師	林氏 峻氏 高石氏	(魚) (植物) (野鳥)・・・協力スタッフで参加	
スケジュール	9:16	スタッフミーティング	
	10:04	開会の挨拶	
	10:16	活動の出発	
	10:30	穂谷川河口上流と淀川の展望説明	
	10:53	植物講義・センダンの実	
	11:08	牧野わんど見学	
	11:43	樋之上わんど見学	
	11:48	谷岡レンジャー対岸の鵜殿説明	
	12:15	荘司レンジャー「オギとススキ」の説明及び淀川源流琵琶湖の歴史 についてミニ講座	
	13:56	ノゲイトウ(希少種)などの観察	
	14:04	樟葉わんどの歴史説明・わんど見学・集合写真	
	14:15	樟葉 2 号わんどで林講師の投網	
	14:17	わんど魚類捕獲と魚の説明(林講師)	
	14:42	アンケート回収	
	14:37	閉会の挨拶	
	15:20	樟葉駅まで誘導して世話役のみ反省会実施	
実施場所			

8.2 事前活動

<p>各種資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 淀川ミニ講座資料 ・ 秋の植物紹介資料 (上2つは手作り) 	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 備品（フィールドスコープ、のぼり等）の貸与 配布資料の提供 淀川資料館 当日の案内 募集チラシの掲示 NPOシニア自然大学 スタッフ協力</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 企画の立案 参加の案内 公的機関（淀川資料館、枚方公園青少年センター、さだ公民館）での 掲示 友人および地域の人への自主PR 必要物品の準備 関係機関への貸与依頼 協力スタッフの調整 活動の実施 当日の進行</p>

8.3 活動状況



9:16 スタッフミーティング



10:04 開会の挨拶



10:16 活動の出発



10:30 穂谷川河口上流展望説明



10:53 植物講義・センダンの実



11:08 牧野わんど見学



11:43 樋之上わんど見学



11:48 谷岡レンジャー対岸の鶴殿説明



12:15 荘司レンジャーオギとススキの説明



13:56 ノゲイトウ(希少種)確認



14:04 牧野2号わんど・集合写真と林講師投網



14:15 林講師の投網



14:17 わんど魚類の捕獲成果



14:42 アンケート回収



14:37 閉会の挨拶

8.4 意見・課題

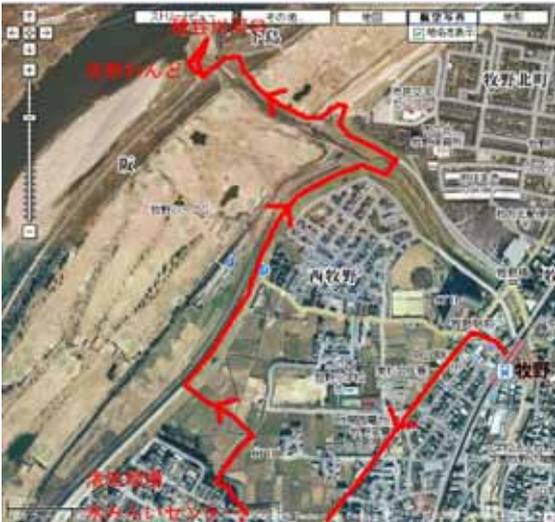
<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 淀川の知らないことが一杯分り普段生活している場所なので為になった。 ・ 樟葉に住んで 40 年、淀川の良さを味わういい機会になりました。同時に環境保護や自然を大切に草の根活動の一端を理解し感動しました。次回の開催を楽しみにしております。 ・ 心配の雨も降らず満足でした。また植物、わんど、水生生物（6種の魚）と詳しい説明でよく分かりました。四季を通じて実施していただけたらと思います。 ・ 魚、小鳥、野草、樹木と観察する種目が盛り沢山だったが、少し欲張りすぎだったかもしれない。季節にもよるが 的をもう少し絞ったほうがいいように思う。 ・ 曇り空で歩きやすかった。淀川の自然をゆっくり楽しむことができ淀川の成り立ちも勉強できよかった。 ・ 淀川 広いな・・・ ・ 淀川に自然が残っており感動した。 ・ 淀川の自然に改めて目が向けることができ感動しました。またの機会を楽しみにしております。有難うございました。 ・ 今日一日楽しかったです。野鳥の会にも参加したいです。“わんど”で淀川の魚が少なくなっている事実を観察できた。 ・ 近郊にこのような川と植物がある場所があり、そこを案内していただければ嬉しく思いました。有難うございます。生物多様性を復活させるために“わんど”などの取り組みがなされていることを学びました。生態系の仕組みを壊さない方策を是非遂行して欲しいと思います。また ゴミが散乱しているところは拾って帰る用意をするのも必要では？ ・ 草花と野鳥のどちらを観察の主眼とするのか決めた方が良いでしょう。（例えば 春は花 冬は野鳥に絞るとか・・・） ・ 少し寒くて残念でした。ウォーキングを楽しみに参加しました。また春にでも開催してください。 ・ 鳥、魚、植物の確認種をしっかりとするとベスト ・ カワセミが見られてうれしかった。“わんど”を復活しているので将来が楽しみです。淀川には植物、野鳥、水生生物が多くてよかった。 ・ 天候良好で何とか一日過ごせた。最初より最後まで事故無くやれた。魚を5種類も見られて良かった。自然の大切さが学べた。 ・ 素晴らしい企画有難うございました。なかなか淀川を観察する機会がないので感謝しています。植物の観察、野鳥観察、魚観察などもう少し時間が欲しかった。・・・歩く行程を減らしてゆっくり観察する時間をとって欲しかった。 ・ 牧野わんど、樋上わんどには初めて行きました。私の知らないことを沢山教えてもらいました。 ・ 身近な淀川について教えてもらいあまりにも知らなかったなあ・・・良い機会となりました。講師の方のいろいろな知識を分けていただいて感謝しています。有難うございました。 ・ 魚、植物、野鳥の観察は良かった。“わんど”の魚が見られて良かったです。淀川の話は広いですね。“わんど”を育てていきましょう。 ・ 野鳥がけっこう沢山居て楽しかったです。 ・ レンジャーの方のご苦労に感謝します。環境保護のための国土交通省の努力に感謝。（国交省への悪い印象が薄らいだ） ・ 植物、魚、野鳥、“わんど”と内容が豊富でそれぞれに先生がいて、説明も丁寧で、準備 お疲れ様でした。 ・ 樟葉わんどを一度見たいと思っていましたので良かったです。じっくり見守ってみたいです。 ・ ゆっくり歩いてくれたのでもう少し距離が延びてもOKと思いました。野鳥が
-----------------	--

	<p>もう少し見られたら良かったかな・・・人数が多かったので2班くらいに分かれて説明が聞けたらうれしかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おさかなありがとう・・・(男の子より) ・淀川の話、植物、野鳥、魚と盛り沢山の良いイベントだったと思います。 ・楽しい一日でした。頑張ってください。 ・淀川の自然の豊かさを感じた。植物、魚など素晴らしい自然を守るべし！トイレの整備が必要 ・マメホシアサガオ(豆星朝顔)は知っていたがアメリカアサガオは初めて知りました。また センダンの木とかトウネズミモチの説明が良かったです。 ・“わんど”を見るのがはじめてで興味深かった。植物もよかった。 ・淀川を自然観察しながらじっくり歩けたのは貴重な体験でした。この環境を壊さないような一人一人の行いが大事だと思いました。 ・淀川の右岸と左岸で植生が大きく異なっていることは興味深いものでした。 ・“わんど”や淀川ウォーキングなど初めての体験でよかった。 ・大変良かった。自然の大切さを知りました。 ・ワンドがワンダフル！
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容としては本当に小規模なものですが 淀川レンジャー活動として一人で企画・運営していくのはやはり大変なことだと痛感した。(、当日の天候、トイレ問題など) ・淀川での活動では 雨天への対応、トイレ問題などはいつも不安が一杯 ・私自身の問題ですが 子ども達への参加促進の方法を考えることも大きな課題 <p>淀川レンジャーとして現在 26 名の人がいろいろな地域で治水・利水・環境など多面的な活動されており これからは他の人の活動にも参加して更に淀川のことを深く知っていきたい。</p>

9. 瀬野レンジャー活動実施報告・平成 20 年 9 月 25 日(木)

9.0 実施状況

<テーマ：淀川見学会・淀川をもっと知りませんか>

テ ー マ	淀川見学会・淀川をもっと知りませんか		
担 当	枚方出張所管内	河川レンジャー瀬野レンジャー	
開催日時	平成 20 年 9 月 25 日 (木) 12:00~16:30		
参加人数	参加総数	61 名	
	一般参加者		21 名
	なぎさ高校生徒参加者		23 名
	河川レンジャー		6 名
	講師		2 名
	枚方出張所		2 名
	府枚方土木事務所 運営事務局		2 名
講 師	本多 政雄氏 三浦 氏 小関 氏	(寝屋川市自然を学ぶ会) (淀川資料館)	
スケジュール	12:00 牧野駅前案内 12:31 受付・資料配付 12:45 瀬野レンジャー開会挨拶 13:06 渚処理場資料配付 13:37 なぎさ高校生徒到着 14:04 場内とんぼ池見学 14:21 本多講師植物講義 14:39 小関講師もんどり捕獲 14:52 なぎさ高校解散 15:05 府枚方土木事務所穂谷川説明 15:21 牧野わんど説明 15:31 スタッフ投網うち 15:49 小関講師説明 16:02 牧野水制工説明 16:05 閉会の挨拶		
実施場所 牧野駅-渚処理場-たんぼ道-堤防天端道-穂谷川-牧野わんど			

9.1 事前活動

<p>各種資料</p>	<div data-bbox="708 237 1166 582" data-label="Image"> </div> <p>配布資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．見学会の案内チラシ、ポスター 2．見学会しおり 3．淀川の自然 4．淀川の魚 5．淀川河川事務所 淀川のワンドに行ってみよう 6．淀川河川事務所 事業のあらまし
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>枚方市</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．枚方市の後援活動の承認。 2．枚方広報にイベントの案内掲載。チラシ、ポスターの掲示。 3．楠葉生涯学習市民センターたよりに活動予定を掲載。 4．枚方市水道局から見学会に淀川と水道について説明。 5．下水道の課題について説明。 <p>大阪府枚方土木事務所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．1級河川の管理について説明と見学会にて説明。 2．チラシ、ポスターの掲示。山田池公園、枚方土木事務所。 <p>大阪府渚水みらいセンター</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．下水処理場、トンボの楽園の見学、説明、資料配布。 <p>なぎさ高校</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．見学会に生徒23名、教諭3名参加。 <p>淀川資料館</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．魚の講師、採取支援、魚の資料提供。 2．説明用のワンドの資料及びパネル提供。 <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．淀川環境委員会（河合委員）穂谷川視察、ワンドの資料提供と課題説明。 2．寝屋川水辺クラブ 投網の実地指導、モンドリの貸与。

<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案（実施計画書）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．日程、場所、協力スタッフ、他のレンジャーの支援、安全・連絡体制、材料の搬入計画を設定。 2．事前の現地調査（コースの設定、自然観察の対象等を調査） <p>参加の案内</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．ポスター、チラシの配布、掲示。（生涯学習市民センター、図書館、公園事務所等） 2．枚方市広報 8月号に掲載。 3．レンジャーのホームページに掲載。 4．知人に紹介。 5．なぎさ高校に参加をお願いする。 <p>必要物品の準備</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．物品貸与申請書を提出して（河川環境管理財団）から貸与。 2．配布物は淀川河川事務所から支給。（手ぬぐい）60部 <p>関係機関との調整</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．実施計画により関係機関に支援をお願いする。 <p>活動の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．見学会の規模 参加者総数 61名 講師 3名 スタッフ 7名 その他 5名 時間 0:45～16:30 2．実施計画書により実施。 淀川に親しむことを主眼として開催。 施設見学会、自然観察会を実施。 牧野水制工は穂谷川河口から離れて見学。
-------------------	---

9.2 活動状況



12:00 牧野駅前案内



12:31 受付・資料配付



12:45 瀬野レンジャー開会挨拶



13:37 なぎさ高校生徒到着



14:21 本多講師植物講義



15:21 牧野わんど説明



15:49 小関講師説明



16:05 閉会の挨拶

9.3 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>当日の参加者の一口メモと感想からの意見。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然観察の説明が大変興味を感じた。自然を大切にしたい。 2. さまざまな植物、魚をみて淀川は生きていることを感じた。 3. 資料は立派であったが時間不足していた。説明をもっと聞きたかった。 4. 高校生は貴重な体験をさせて貰った。生徒に集中力が欠けていたようだ。(淀川物語の写真の高校生はなぎさ高校の生徒) 5. 豆朝顔と姫朝顔の区別が分かり嬉しかった。親切が嬉しい。 6. 淀川の植物について里山の違いが分かって良かった。 7. 立派な資料に感動した。 8. 淀川の植物の外来種が多い。少しでも取っていききたい。川沿いが涼しい。市街地に水路を増やしてヒートアイランド対策に活用すればどうか。災害時の利用や町の潤いつくりに淀川を考えたい。 9. 淀川のダム問題について枚方ではどのような影響があるのか治水について住民として情報を頂きたい。 10. 楽しい1日でした。九州の故郷より大きな淀川は素晴らしい。 11. 身近にこんなに自然が残っていることを知り嬉しかった。立派な資料作りが大変だったでしょう。 12. 初めての淀川左岸の探訪は面白かった。これからもまたやって欲しい。参加します。 13. 穂谷川の河口にゴミ置きを作って欲しい。
<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 淀川と関わりのある下水施設の見学や植物や魚の自然観察を淀川の場合をかえてそれぞれの特徴を把握して継続する。 2. 高校生に参加をして貰ったが若い世代に淀川ファンになって欲しいので学校と今後もっと連絡を取る。 3. 今回作成した資料や国交省の資料が本当に活用されているのかその扱いについて考えてみる。 4. 枚方地域の枚方市、大阪府などと淀川の自然、環境、利水等について共通の課題を話し合いをして課題を共有化する。 5. 淀川に以前あった実験的な池を再生して欲しい意見が多い。市民が淀川に来やすい場所が必要である。 6. 淀川の自然は豊かである。淀川で市民が自然観察や景色を楽しむ場を広げていく。

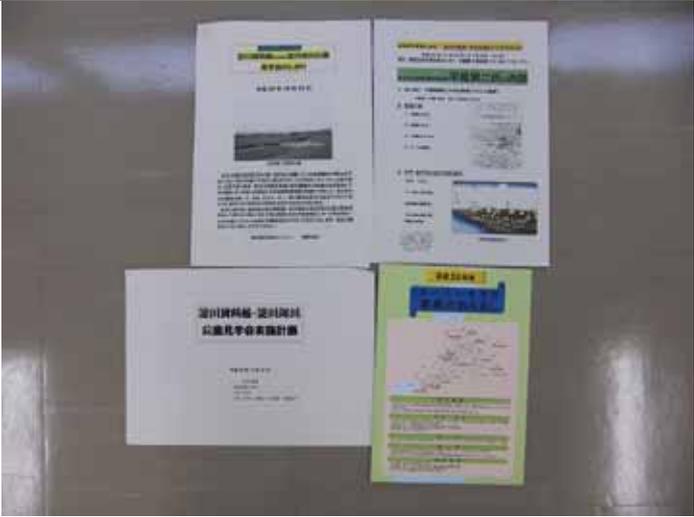
10. 瀬野レンジャー活動実施報告・平成 20 年 10 月 25 日(土)

10.0 実施状況

<テーマ：淀川をもっと知りませんか>

テ ー マ	淀川資料館・淀川河川公園見学会		
担 当	枚方出張所管内	河川レンジャー	瀬野レンジャー
開催日時	平成 20 年 10 月 25 日(土) 13:00~16:00		
参加人数	参加総数	26 名	
	一般参加者	20 名	
	スタッフ	1 名	
	講師	2 名	淀川資料館
	出張所	1 名	
	運営事務局	2 名	
講 師	裕永氏 小関氏	(淀川資料館) (淀川資料館)	
スケジュール	<p>12:23 枚方市駅受付・資料配付</p> <p>12:59 レンジャー開会挨拶</p> <p>13:13 淀川資料館レンジャー説明</p> <p>13:19 小関講師による淀川の説明</p> <p>13:47 裕永講師による展示説明</p> <p>14:03 屋外にて枚方八景の説明</p> <p>14:06 安居(あご)悪水樋門の説明</p> <p>14:23 対岸の大正 6 年大塚切れ説明</p> <p>14:39 郵便屋の渡し石碑説明</p> <p>14:43 坂本助太郎銅像(本体は戦時に徴発された)</p> <p>14:45 枚方合同樋門跡石碑(坂本氏の功績)</p> <p>15:03 裕永講師による水害講義と「交響曲淀川」鑑賞</p> <p>15:46 アンケートの配布と記入</p> <p>16:01 閉会の挨拶後散会</p>		
実施場所			

10.1 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川資料館 講師協力（淀川の歴史、生き物、水害の怖さについての話、資料館の企画展示説明、淀川河川公園の見学案内）</p> <p>淀川河川事務所 必要物品の貸与（のぼり等） 必要資料の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．日程、場所、協力スタッフと安全管理体制 2．事前の現地調査（コースの設定） <p>参加の案内</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．ポスター、チラシの配布、掲示 2．枚方市広報9月号に掲載 <p>必要物品の準備と貸与と資料配布</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．物品貸与申請書を提出、貸与を受ける 2．淀川河川事務所から配布資料（淀川のあらし）の支給を受け、参加者に配布 <p>講演会の資料を講師に依頼して編集、印刷の依頼</p> <p>活動の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．参加者の誘導、案内 2．進行、運営 3．感想のとりまとめ

10.2 活動状況



12:23 枚方市駅受付・資料配付



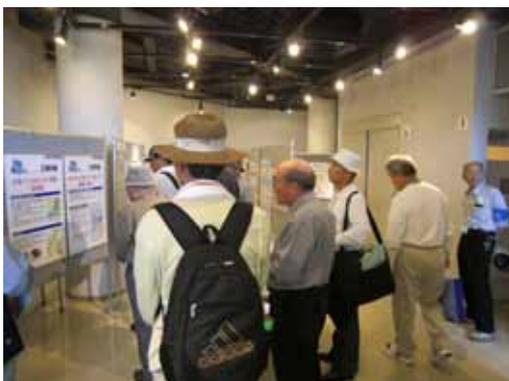
12:59 レンジャー開会挨拶



13:13 淀川資料館レンジャー説明



13:19 小関講師による淀川の説明



13:47 柏永講師による展示説明



14:03 屋外にて枚方八景の説明



14:06 安居(あご)悪水樋門の説明



14:23 対岸の大正6年大塚切れ説明



14:39 郵便屋の渡し石碑説明



14:43 坂本助太郎銅像(本体は戦時に徴発された)



14:45 枚方合同樋門跡石碑(坂本氏の功績)



15:03 杉永講師による水害講義と「交響曲淀川」鑑賞



15:46 アンケートの配布と記入



16:01 閉会の挨拶後散会

10.3 意見・課題

参加者からの意見	<ol style="list-style-type: none">1 . 時間をかけて見学したかった2 . 淀川の流れの雄大さを感じた3 . 淀川が琵琶湖～大阪港の範囲を知り、枚方切れの話は有意義だった4 . 香里園からきて淀川の知らない面を学んだ。イタセンパラはいますか？5 . 本講座の3回のレポートを作りPRしてほしい。淀川の歴史は大変役に立った。6 . 淀川の歴史、動物、植物を知り参考になった。次から参加します7 . くずはの再生計画、災害の備えの状況をPRしてほしい8 . 母なる淀川の奥の深さを知った9 . 恵沢洽撰河（けいたくあまねせつか）：坂本助太郎氏の言葉から先人の苦勞を知りました10 . 水の都大阪を知る機会が良かった、もっとPRしてほしい11 . 石碑の意味は興味が深かった12 . CDの音質は改善してほしい
今後の課題	<ol style="list-style-type: none">1 . 淀川を知る見学会・講座も増やしていく2 . 淀川資料館の活用を図る3 . 参加者へのPRは時間をかけて行う4 . 淀川の水害のこわさなどその歴史や現在の水防の実態をPRする

11. 瀬野レンジャー活動実施報告・平成20年11月22日(土)

11.0実施状況

<テーマ：淀川をもっと知りませんか>

テーマ	淀川の歴史・文化を語る講座			
担当	枚方出張所管内	河川レンジャー	瀬野レンジャー	
開催日時	平成20年11月22日(土) 12:45~15:30			
参加人数	参加総数	25名		
	一般参加者	20名		
	協力スタッフ	2名		
	山崎管内仁枝レンジャー	1名		
	枚方出張所 運営事務局	1名 1名		
講師	松永氏 小関氏	(淀川資料館) (淀川資料館)		
スケジュール	0:45 13:00 13:05 13:15 14:35 15:00 15:05 15:30 15:35	スタッフ集合・打合せ、準備 開会・瀬野レンジャーより挨拶 枚方出張所・荒井所長より挨拶 元鍵屋資料館館長・平尾氏による講演 淀川・枚方にゆかりのある人物を取り上げ、淀川の歴史・文化を紹介 平尾氏より三十石舟の舟歌披露 講演終了 瀬野レンジャーよりわんどの現状と将来についてのお話 終わりの挨拶・終了 解散・スタッフ後片付け		
実施場所				

11.1 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>配布資料</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>楠葉生涯学習市民センター</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．会場準備 2．同センター会のたよりに 8 月及び 10 月号に掲載して頂き 広報をして頂く 3．参加者の募集に協力して頂く 当日参加者の受け入れ <p>淀川河川事務所 必要資料の提供 必要物品の貸与</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．日程、実施場所、協力スタッフの調整 2．楠葉生涯学習市民センターへ会場準備、広報をお願いする <p>参加の案内 ポスター、チラシの配布、掲示</p> <p>講演会資料の編集とコピー依頼</p> <p>活動の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．参加者の誘導案内 2．淀川の現在の課題について 資料「淀川のワンドに行ってみよう」 により、楠葉ワンド及び鶴殿のヨシ原保全再生を説明する 3．感想のとりまとめ

11.2 活動状況



実施場所（楠葉生涯学習市民センター）



受付の様子



聴講者のみなさん



瀬野レンジャーより開会の挨拶



荒井所長より挨拶



元鍵屋資料館館長・平尾氏による講演



瀬野レンジャーよりわんどの現状とこれからについての話



荒井所長より終了の挨拶

11.3 意見・課題

参加者からの意見	<ol style="list-style-type: none">1. 平尾氏の話が内容があり、楽しく大変面白かった質問の時間も入れて欲しかった2. 平尾氏の舟唄が大変うまかった。継続して欲しい3. 大変参考になりました。途中休憩が欲しかった4. 話は楽しかった これからもパンチある企画を続けて下さい さらなるイベントを期待します5. 淀川講座のPR 不足ではないか6. 資料と淀川の歴史について感動した CD スライドを利用しては。7. 淀川の深さを淀川の歴史、人間との関わりを学び初めての参加でしたが、大変有意義でした8. 鳥の住み家とのバランスも大切9. 自然の大切さを感じました10. 家に帰って家族にも淀川の話をしたい
今後の課題	<ol style="list-style-type: none">1. 現場から離れて公民館での講座でしたが、淀川がもっともっと身近に感じられるようにもっと PR していく事が大切である。(淀川から離れている公民館においてもPRする)2. 淀川をもっと知りたいという要望が

12. 瀬野レンジャー活動実施報告・平成 20 年 12 月 18 日(木)

12.1 実施状況

<テーマ：淀川と環境について> 新規追加

テ ー マ	淀川と環境について 枚方なぎさ高校・環境学習での講義		
担 当	枚方出張所管内	河川レンジャー瀬野レンジャー	
開催日時	平成 20 年 12 月 18 日(木) 12:30~15:30		
参加人数	参加総数	18 名	
	枚方なぎさ高校生徒 (1 年生)		16 名
	教員		1 名
	運営事務局		1 名
スケジュール	<p>12:30 来校</p> <p>13:00 校長室にて挨拶・打合せ</p> <p>12:45 教室に移動・生徒集合</p> <p>13:06 担当の先生より授業について説明</p> <p>13:37 レンジャーによる講義「淀川と環境」開始</p> <p>14:04 淀川の概要について、くらわんか舟、舟運についてのお話</p> <p>14:21 防災を兼ねた施設(浄水場など)についてのお話</p> <p>14:39 楠葉わんど、鶺殿のヨシ原とそこに棲む生き物について</p> <p>14:52 歴史を記す枚方の石碑・砲台跡について</p> <p>15:05 講義終了</p> <p>15:15 校長室にてミーティング</p> <p>15:30 解散</p>		
実施場所 枚方なぎさ高校			

12.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div data-bbox="748 232 1126 517" data-label="Image"> </div> <p>配布資料</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 必要資料の提供（淀川のワンドに行ってみよう）</p> <p>枚方環境ネットワーク 実施計画について学校と全体打合せ</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案（実施計画書） 淀川の環境について淀川の現在の課題を決める （牧野水制工、楠葉ワンド）</p> <p>必要物品の準備 国交省へ必要資料の提供依頼</p> <p>関係機関との調整 学校との打合せ 講義内容のレジメ資料作成</p> <p>活動の実施 当日の講義 感想のまとめ</p>

12.3 活動状況



校長室にて打合せ



教室に移動後、講義開始



資料の説明



講義の様子



生徒への質問



講義終了



終了後ミーティング

12.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 淀川には自然が沢山ある。枚方は淀川の中心的な位置にある。 2. 水を大切にしてお水を頂きます。淀川に感謝する。 3. 淀川の堤防の働きを理解した。洪水がなくなってきた事が理解できた。 4. 外来種の植物・魚の事を学んだ。(在来種と外来種の区分) 5. 淀川の左岸/右岸の意味がわかった。枚方市は左岸 6. 淀川の概要や素晴らしさがわかった。 7. 淀川の水が多くの人に飲まれている事が生物の事がわかった。 8. 川を汚さないようにする。川にゴミを捨てないようにする。ポイすてをしない。 9. くらわんか船の歴史や徳川時代の淀川の歴史を学んだ 10. ダムの大切さを学んだ 11. イタセンパラの生態に興味を感じた 12. ワンドに行って遊んでみたい。アシとヨシをよくみつめてみたい 13. 浄水場や下水場設備の働きを学んだ
<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 淀川環境学習について焦点が少なくしぼれたようだが、もっと身近な事柄をわかりやすく説明する。(ワンド、オギ、ハギ、左岸、右岸、洪水の話、イタセンパラの生態、くらわんか舟に関心があった) 2. 淀川の水の大切さを理解でき、毎日の生活に欠かせぬものであり、淀川の水道設備の見学会を開催する。 3. 高校時代に吸収した淀川への思いは将来きっと役に立つと思いますので枚方地区の淀川の概要、特徴について写真をまとめて自分達の淀川の姿を理解していくようにする。 4. 枚方の毎年開かれているエコフォーラムに淀川と環境コーナーを開設するよう働きかける。